タキロンシーアイ

高機能農業用塗布型POフィルム

カゲナシ5ファイブ

全光線透過率
リアルバランス
散乱光

カゲナシの方がいいでしょ!

全光線透過率を下げずに散乱光を増やします。

高機能農業用塗布型POフィルム

カゲナシ5ファイブ

これぞ！カゲナシ！ 特に光線に敏感な作物にはソフトな光線が適しています。

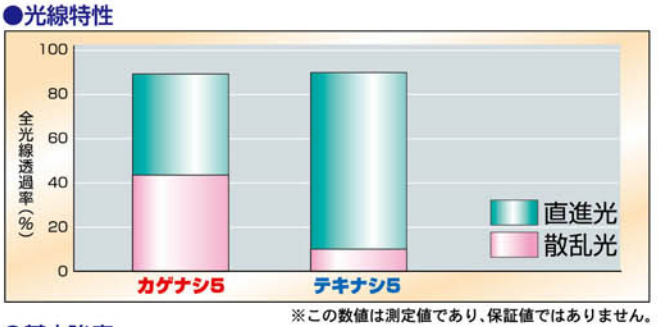
特　長

●全光線透過率を下げずに散乱光を増やしています。

- 散乱光が多く入るため、作物の葉ヤケ・芽ヤケの抑制になります。
- 散乱光が多く入るため、作物の下側にも光が当たり、果樹・果菜の色付きが均一になる事が期待できます。
- テキナシ5とほぼ同等の初期強度があります。
- 耐久性に優れ、長期展張が可能です。
- 防滴剤をコーティング処理してありますので、防滴効果が長期間持続します。
- 保温性は従来の汎用農POと同等の性能があります。※1)

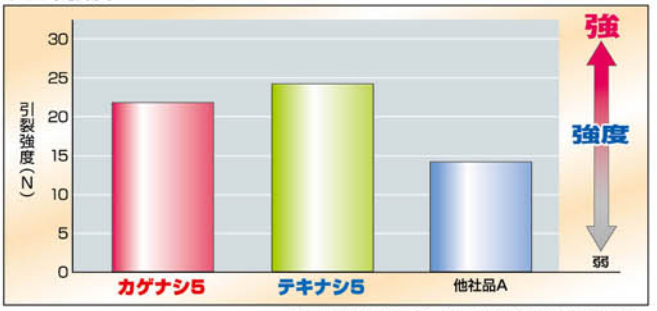
※1）ハウスの構造・形状によって保温性が十分に発揮されないこともあります。

●光線特性



※この数値は測定値であり、保証値ではありません。

●基本強度



※この数値は測定値であり、保証値ではありません。

●ハウス内の状況

●規格

厚さ（mm）	幅（cm）	長さ（m）
0.15	135 150 185 200 230 270 300 330 370 400 430 460 500 540 570 600 630 660 700 740 770 800 840 860 900 930 960 1000	1m単位で加工可能

●「カゲナシ5」使用上のご注意

1. 同製品には裏と表があります。フイルムに印刷された文字がハウスの外側から見て正しく読めるように展張して下さい。
2. 解反・展張時に防滴剤処理面（ハウスの内側になる面）を傷つけないようにして下さい。
3. 展張時はフイルムのシワ・たるみを伸ばす程度に軽く引っ張って下さい。
4. ハウスバンド等との摩擦により破れる事がありますので、ハウスバンドは緩めに張り、換気作業は丁寧に行って下さい。またスプリング状の止め具で固定する場合、できるだけ緩やかに行うか専用の補助部材をご使用下さい。※2)
5. 高温時にフイルムどうしが融着する恐れがありますので、展張途中や保管には十分ご注意願います。
6. 防滴処理面が濡れたまま重ねて保管すると、処理面どうしが接着する場合があるため、フイルムをよく乾燥させてから保管して下さい。
7. 土壌熱消毒及び高温期での展張等によりフイルムの防滴性能が低下する恐れがありますのでご注意願います。
8. イオウ燻蒸や散布・およびイオウ含有農薬の付着により、フイルムの劣化が促進される場合がありますのでご注意願います。
9. アルミ・ステンレスなどの熱伝導性の高いハウス部材を使用した場合、フイルム接触面が蓄熱により劣化する可能性がありますのでご注意願います。
10. 同製品は防霧配合ですが、キリ・モヤの発生が皆無ということではなく、季節栽培環境により多少の状況変化があります。

※2)　同製品の展張には「スカイコートバンドEX」「ブルブルワイドEX」をお勧めします。

※規格については、予告なく変更する場合がありますので、ご了承下さい。

代理店

タキロンシーアイ

本社所在地：大阪市北区梅田三丁目1番3号
事業部所在地：〒104-8321　東京都中央区京橋一丁目18番1号
(03)-3535-4571
アグリ事業部ホームページアドレス URL:http://www.cik-agri.jp/
※支店・営業所所在地・電話番号はホームページをご確認下さい。

2017.4Ⓢ

高機能汎用農業用塗布型POフィルム

全光線透過率 リアルバランス 散乱光

カゲナシ5 ファイブ

カゲナシの方がいいでしょ!

ついに0.1mm登場!

特長

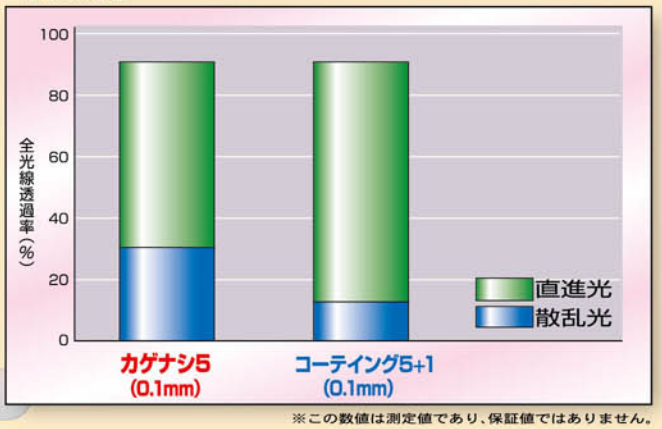
★全光線透過率を下げずに散乱光が増加します。

★散乱光が多く入るため、作物の葉ヤケ、芽ヤケの防止が期待できます。

★防滴コーティング処理をしていますので、防滴効果が長期間持続します。

★散乱光の効果により作物の下側にも光が当り、作物の色付きが均一になる事が期待できます。

■光線特性



※この数値は測定値であり、保証値ではありません。

■ハウス内の状況

散乱光が多いので、影が少ない。

カゲナシ5

直進光が多いので、影がはっきりしている。

塗布PO

■規格

厚さ(mm)	幅(cm)	長さ(m)
0.1	135 150 185 200 230 270 300 330 370 400 430 460 500 540 570 600 630 660 700 740 770 800 840 860 900 930 960 1000	1m単位で加工可能

※0.075mmについては、お問い合せ願います。

■使用上のご注意

1. 同製品には裏と表があります。フイルムに印刷された文字がハウスの外側から見て正しく読めるように展張して下さい。
2. 解反・展張時に防滴剤処理面（ハウスの内側になる面）を傷つけないようにして下さい。
3. 展張時はフイルムのシワ・たるみを伸ばす程度に軽く引っ張って下さい。
4. ハウスバンド等との摩擦により破れる事がありますので、ハウスバンドは緩めに張り、換気作業は丁寧に行って下さい。またスプリング状の止め具で固定する場合、できるだけ緩やかに行うか専用の補助部材をご使用下さい。
5. 高温時にフイルムどうしが融着する恐れがありますので、展張途中や保管には十分ご注意願います。
6. 防滴処理面が濡れたまま重ねて保管すると、処理面どうしが接着する場合があるため、フイルムをよく乾燥させてから保管して下さい。
7. 土壌熱消毒及び高温期での展張等によりフイルムの防滴性能が低下する恐れがありますのでご注意願います。
8. イオウ燻蒸や散布・およびイオウ含有農薬の付着により、フイルムの劣化が促進される場合がありますのでご注意願います。
9. アルミ・ステンレスなどの熱伝導性の高いハウス部材を使用した場合、フイルム接触面が蓄熱により劣化する可能性がありますのでご注意願います。
10. 同製品は防霧配合ですが、キリ・モヤの発生が皆無ということではなく、季節栽培環境により多少の状況変化があります。

※規格については、予告なく変更する場合がありますので、ご了承下さい。

代理店

タキロンシーアイ

本社所在地：大阪市北区梅田三丁目1番3号
事業部所在地：〒104-8321　東京都中央区京橋一丁目18番1号
(03)-3535-4571
アグリ事業部ホームページアドレス URL:http://www.cik-agri.jp/
※支店・営業所所在地・電話番号はホームページをご確認下さい。

2017.4Ⓢ